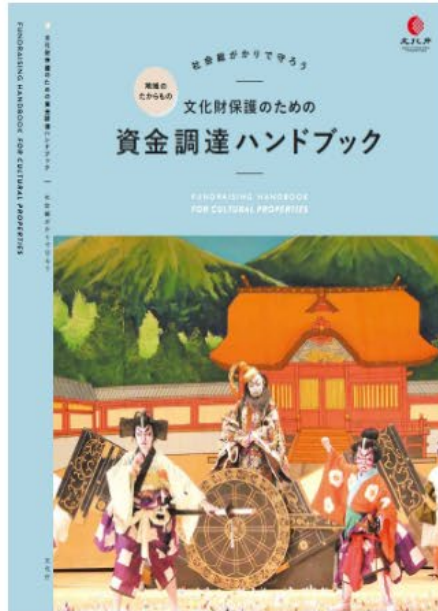


寄附収入増加に向けたインセンティブ付与について① 文化財保護のための資金調達ハンドブックの発行・周知

クラウドファンディング



クラウドファンディング

CASE STUDY B-1
江戸時代の歴史的建造物を後世に残したい

実施概要
2014年11月、町内会が所有する江戸時代の歴史的建造物「江戸時代建築資料館」の修復工事をクラウドファンディングで実施した。...

課題・今後の取組
クラウドファンディングの活用は、町内会が所有する歴史的建造物の修復工事に活用された。...



クラウドファンディング

CASE STUDY B-2
本来の姿を取り戻せ～参勤道屋敷プロジェクト～

実施概要
徳川幕府参勤道屋敷の復元プロジェクトとして、クラウドファンディングを活用して、参勤道屋敷の復元工事を実施した。...

課題・今後の取組
クラウドファンディングの活用は、参勤道屋敷の復元工事に活用された。...

ふるさと納税・企業版ふるさと納税



ふるさと納税

CASE STUDY E-1
寄附金で損傷の危険にあった建造物の修理

実施概要
町内会が所有する江戸時代の歴史的建造物「江戸時代建築資料館」の修復工事をクラウドファンディングで実施した。...

課題・今後の取組
クラウドファンディングの活用は、町内会が所有する歴史的建造物の修復工事に活用された。...



ふるさと納税

CASE STUDY E-2
築城400年にむけ寄附金の使い道を拡充

実施概要
2019年に築城400年にむけ、町内会が所有する歴史的建造物の修復工事をクラウドファンディングで実施した。...

課題・今後の取組
クラウドファンディングの活用は、町内会が所有する歴史的建造物の修復工事に活用された。...

地域活性化ファンドからの投資



地域活性化ファンドからの投資

CASE STUDY D-1
重伝播地区で分譲型ホテルを運営

実施概要
2013年、重伝播地区で分譲型ホテルを運営するプロジェクトとして、クラウドファンディングを活用して、分譲型ホテルの運営を開始した。...

課題・今後の取組
クラウドファンディングの活用は、重伝播地区で分譲型ホテルの運営に活用された。...

PFI方式/コンセッション



PFI方式/コンセッション

CASE STUDY G-1
コンセッション方式で、重伝播地区の町家小ホテルを運営

実施概要
2013年、重伝播地区で町家小ホテルを運営するプロジェクトとして、コンセッション方式を活用して、町家小ホテルの運営を開始した。...

課題・今後の取組
コンセッション方式の活用は、重伝播地区で町家小ホテルの運営に活用された。...

見せる修理 修理観光収入を工事費の一部に充当



見せる修理

CASE STUDY H-3
修理観光が工事費の一部に充当

実施概要
2013年、重伝播地区で町家小ホテルを運営するプロジェクトとして、見せる修理を活用して、町家小ホテルの運営を開始した。...

課題・今後の取組
見せる修理の活用は、重伝播地区で町家小ホテルの運営に活用された。...

寄附収入増加に向けたインセンティブ付与について② 企業版ふるさと納税の推奨

■ 近年、企業版ふるさと納税を活用した文化芸術関係の好事例も出てきている。

企業版ふるさと納税の好事例

① 岡山県瀬戸内市の事例



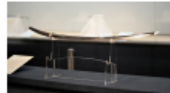
展示「山鳥毛」の展示中は訪問客数が大幅に増加し、まちの賑わい・観光に貢献した

寄附活用事業の概要 国宝「山鳥毛」を購入し、日本刀文化を未来に伝える

瀬戸内市長船地域は、かつて全国一の日本刀の生産量を誇り、日本刀の聖地とも呼ばれています。しかし、市内に国宝や重要文化財指定の刀剣は残されていませんでした。そのような折、備前刀の中でも1、2を争う優品である国宝「山鳥毛」が岡山県外へ流出する動きがあり、これを購入し、岡山県で守っていくとする事業を立ち上げました。これを機に日本刀文化継承の機運を高めていくことでシビックプライドにつなげ、日本刀文化を子どもたちの教育素材として活用します。また、観光資源としても活用し、関係人口・交流人口の増加にもつなげます。

寄附活用事業の成果 「山鳥毛」を購入することができ、守り続ける第一歩となった

- 普及啓発活動のなかでシビックプライドが育まれた
- 事業が目ざされる市の認知度が上がりイメージアップ
- 関係人口が大幅に増え、市に貢献したいという気持ちを持った人が増加



上野御所の交刀で、備前刀の最高峰といわれる国宝「山鳥毛」(刀身・刀柄・文字「山鳥毛」)

地方公共団体 寄附受入れの経緯・工夫

寄附を募るに当たって、当市に縁のある企業や刀に関心がある企業をリストアップし、電話等で連絡するところから開始。当市の事業や企業版ふるさと納税制度の内容を記したパンフレットを企業に送付したことで、市内の地方版に新聞広告を出したことも効果がありました。市長のトップセールスが寄附の決め手となったことや、地域新聞や放送局などの協力を得たことで、事業そのもののイメージや認知度が高まったことも寄附獲得につながりました。また、プロジェクトに共感してくれた、地域で発信力のある方をアンバサダーに任命し、当市に企業とのパイプ役を担っていただいたことも大きな効果がありました。多くの方に日本刀に興味を持っていただくため、刀に関連のある神社やイベント等で積極的にPRを行い、SNSで日本刀に関するアチ情報を積極的に発信しました。

寄附企業 寄附の経緯・効果

岡山県の宝を守ることで地域に貢献したいという思いから寄附を決めました。瀬戸内市から届かれた内覧会では、実際に購入した国宝を目の前に見ることができ、県外に流失しなくて本当によかったと感じています。

② 香川県の事例



2019年の「瀬戸内国際芸術祭」では、海外からの来場者をより多く迎えた。Photo: Miyawaki Shintaro

寄附活用事業の概要 アジア各国からの来場者の受入態勢を強化

2010年から3年に一度のトリエンナーレ方式で開催している「瀬戸内国際芸術祭」は、現代アートを活用して地域の活性化を目指す取組であり、回を回すごとに盛り上がりを見せています。芸術祭の開催年以外にもアート作品を継続展示するなど、地域が一体となって交流人口の拡大に向けた取組を行ってきました。本事業では、2019年に開催された芸術祭に向けて、特にアジア各国からの来場者の受入態勢を強化しました。多言語対応スタッフを育成するとともに、繁体字、簡体字、ハングルで記載されたパンフレットや案内板を新たに用意したことで、よりスムーズな運営につながりました。

寄附活用事業の成果 世界各国からの来場者が増え、経済効果が30%アップ

- 「瀬戸内国際芸術祭」の来場者数、来場者の外国人割合がともに増加
- 県内外国人宿泊者数が増加
- 特にアジア各国からの来場者受入態勢が整い、円滑な案内につながった



多くの外国人ボランティアスタッフが芸術祭に参加した。Photo: Miyawaki Shintaro

地方公共団体 寄附受入れの経緯・工夫

従前より寄附をいただいていた芸術祭の協賛企業等から企業版ふるさと納税を活用した寄附をいただくことが多くなりました。寄附企業には、芸術祭における活動や展示作品などを取りまとめた記録集を贈るとともに、次回の芸術祭に向けた準備の進捗状況やイベントなどを伝えるメールマガジンを発行するなど、寄附をいただいた後においても、寄附企業との関わりを大切にすることが継続的な寄附につながっています。多くの寄附企業が、芸術祭での受付業務や作品制作のボランティア活動、自社ホームページで芸術祭を盛り上げる活動など、自発的な取組を通じて事業をサポートしてくれています。

寄附企業 寄附の経緯・効果

過激化が進む瀬戸内海の美しい島々に活力を取り戻そうとする芸術祭の趣旨に賛同して継続的な寄附を行っています。休校していた男木島の小中学校の再開、国立ハンセン病療養所がある大高への定期航路の就航、休耕田となっていた島島の棚田の風景の復活など、芸術祭が地域の活性化に寄与していることも寄附のモチベーションにつながっています。

③ 京都府の事例

アート&クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業

若手アーティストたちがコンテンポラリーに表現した作品が一堂に展覧される「ARTIST'S FAIR KYOTO」の開催を通して、既存の美術ファンに留まらず、企業経営者など支援者となる新たな層とアーティストを結び、地方にあって才能ある作家が持続的に活動し、新たな文化が創造され続けるサイクルを整え、かつ、文化資産を舞台にアーティストの創造性を生かして新たな発表の場をつくり、社会で芸術を共有する機会の広がりを生み出すことを目指します。

令和2年度の取組

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2021」の開催

- 時期：2021年3月6日(土曜日)～7日(日曜日)
- 会場：京都文化博物館別館、京都新聞ビル地下1階
- 概要：

- 国内外で活躍するアーティスト達がセレクトした、将来に期待を寄せる若手アーティスト達の作品を主体に、京都を代表する近代建築をユニークにしつらえた会場で展示公開。「美術展とアートフェアの境を取り払った新しいアートイベント」として人気を集める。
- 会場では若手アーティスト達が観客を待ち受けており、作家×観客の販売も交えたコミュニケーションによって完成するオルタナティブで「熱気溢れる」展覧会。国内外のアート関係者、アートファンのみならず、都内・関西の著名な企業経営者から、訪日観光客まで多彩な層が来場。
- 展覧会開催後にも若手アーティスト達へ国内外のアート関係者、企業関係者等から多くの制作依頼があり、国内外で広く、次世代の日本の美を発信する機会となっている。

※開催を予定していた、「Art Collaboration Kyoto」は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に延期。